

ICTメイト  
当院の課題

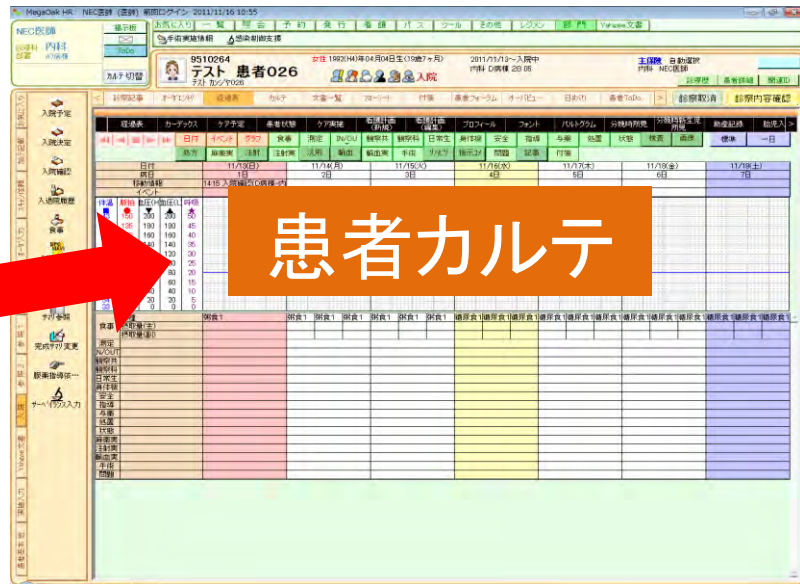
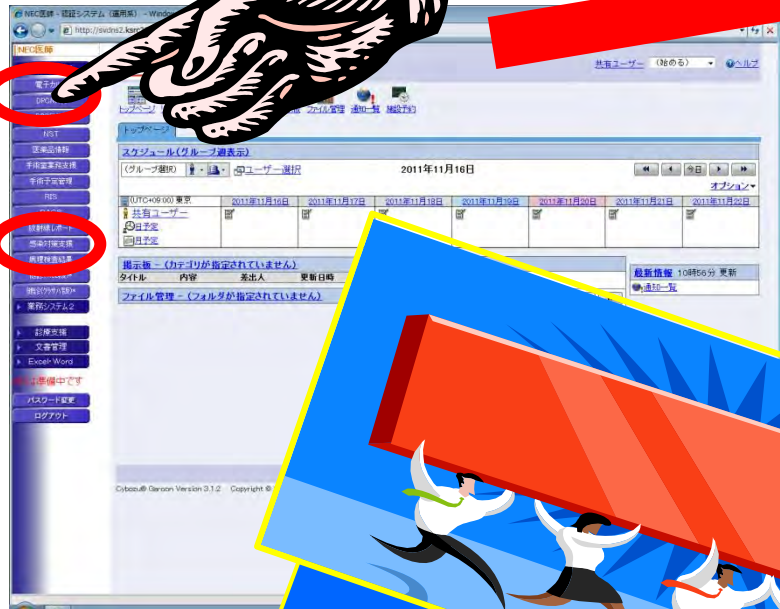


全職員が  
ICTメイトを  
もっと活用するには……





# 電子カルテのトップページ



患者カルテ

INCENTIVE

動機付けが必要

10/月21日以降の情報が表

## ICTメイト

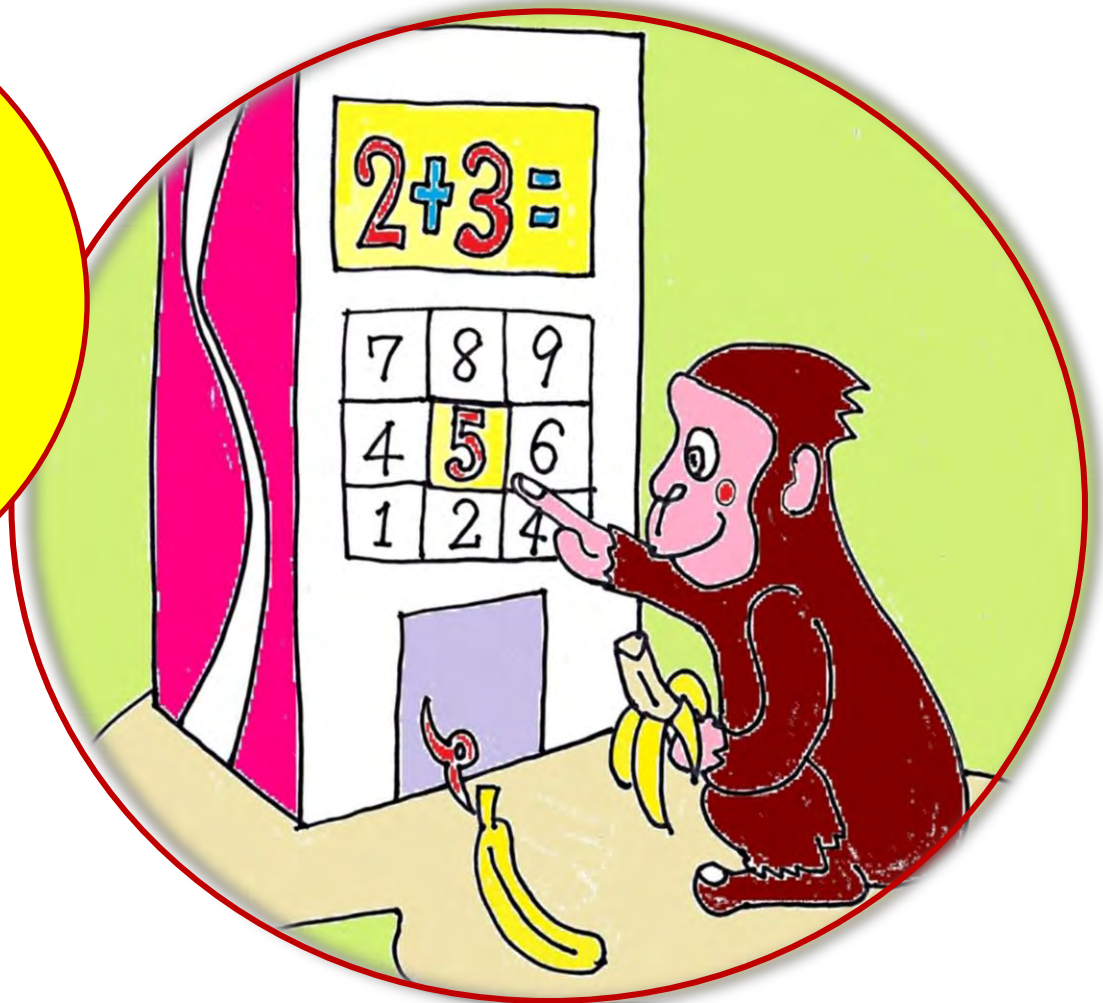
重要なお知らせ

部	8550	定例会資料	間准資料	
下	7754	日報	医療関連感染対策マニュアル	2011/11/10
森	7097	週報	様々	
上	7649	月報	様々	2011/11/10
小	7115	年報	様々	

今後、ソフトとしては・・・

インセンティブを更に高める工夫が必要

クリックしたら  
何か良いことが  
ある仕組み





# 必要な情報は全て ICTメイトに集約している

新着情報

2013/09/12	久保田・呼吸器内科副部長のスライド「成人の市中肺炎について」を関連資料内に収載しました。
2013/07/01	2013年4月～6月のICCニュースを月報に収載しました。
2013/06/20	森下看護副部長・ICNのスライド「感染経路別対策について」を関連資料内に収載しました。
2013/05/21	薬剤部・西川先生のスライド「当院採用抗菌薬の適正使用について」を関連資料内に収載しました。
2013/05/02	2013年4月のICCニュースを月報に収載しました。
2013/05/02	2011年度と2012年度のICCニュースを年報に収載しました。
2013/04/19	スライド「感染対策ソフトを活用して、この病院のアウトブレイクをどのようにして防ぐか」を関連資料内に収載しました。
2013/04/10	薬剤部・大塚先生のスライド「皆で考えよう。注射薬の微生物汚染はこうして防ぐ！」を関連資料内に収載しました。
2013/04/02	2012年度(1年分)のICCニュースを月報に収載しました。
2013/03/21	中減・大西師長のスライド「当院中減センターのプリオン対策」を関連資料内に収載しました。
2013/03/21	脳神経内科・牧野先生のスライド「プリオン病について」を関連資料内に収載しました。
2013/02/27	マダニ刺咬に由来する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)が、3月4日(月)から、<直ちに>届出る義務のある四類感染症に追加されます。関連資料内にSFTSの定義、臨床的特徴、届出基準についてのpdfを掲載しています。 ※ 当院マニュアル内にある「感染症法」も準備出来次第、更新します。

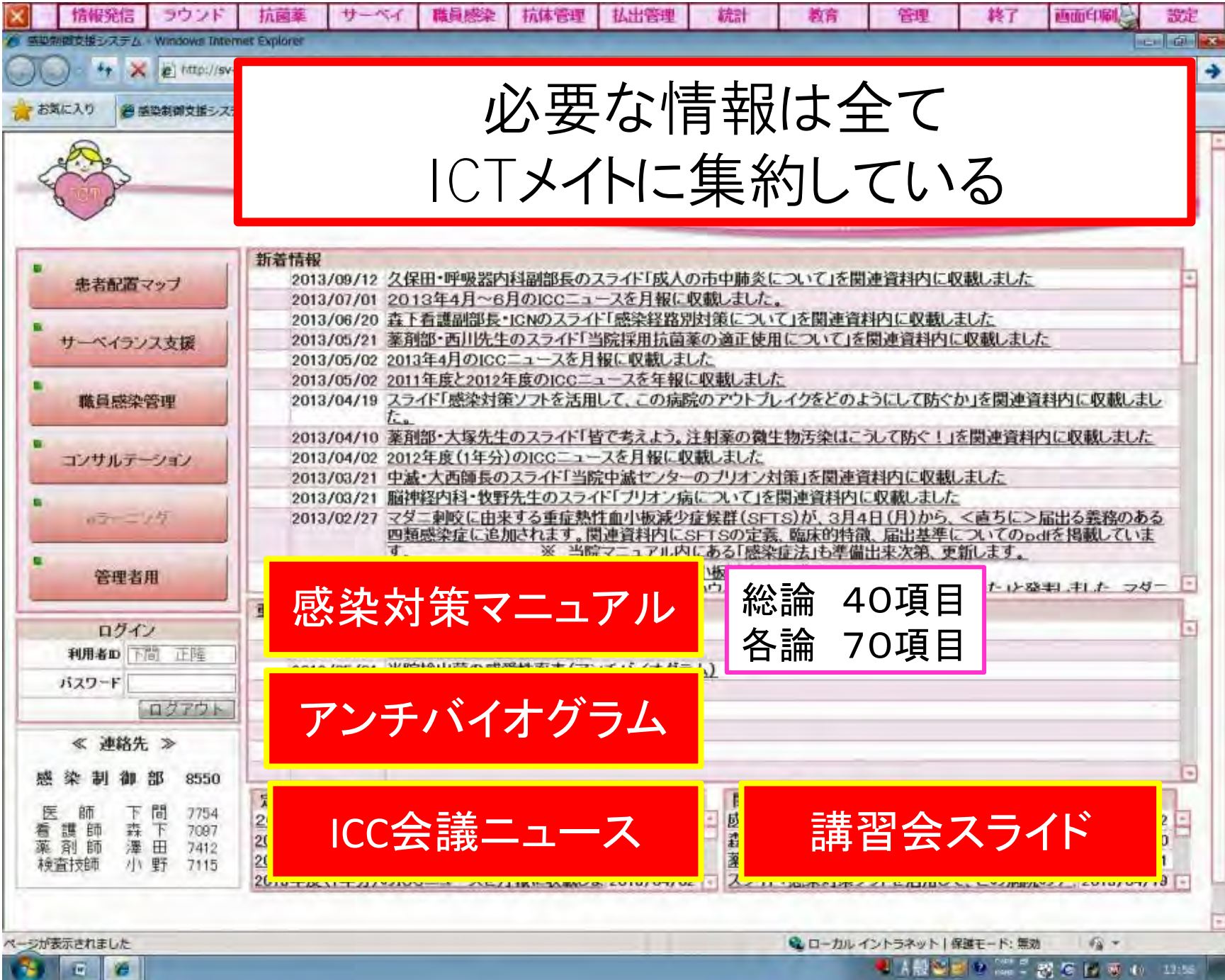
感染対策マニュアル

総論 40項目  
各論 70項目

アンチバイオグラム

ICC会議ニュース

講習会スライド



# 初療室に結核患者が来たら・・・

# マダニ咬傷について


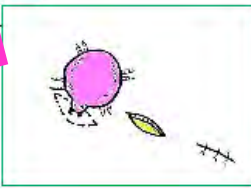
初療室に、結核患者(疑)が来たら・・・		2013年6月 作成
1	結核を疑うとき	
「長く続く風邪症状」や「2週間以上続く咳」などは結核を疑う。結核症状に多いのは、発熱・咳・痰・血痰。		
2	初療室での対応	
1. 結核が疑われたら、可能な限り、ショックルームへ入室させる。 2. ショックルームに、インフルエンザ検査機、アイソレーターを配置し、必要に応じて空調機を依頼する。 3. ショックルームは、結核患者の出入り口側から出入りする。 4. ショックルームは、患者退室後、釜通側の窓や扉を開け、換気を行う。行き先の部署に前もって「結核(疑い)である」旨を連絡する。 5. ショックルームは、患者退室後、釜通側の窓や扉を開け、換気を行う。 ※ アイソレーターを使用したら、1時間換気は5回以上行う。 6. 患者が、はじめERベッドに入室した場合は、ERの窓や扉を開けて換気する。 ※ 患者退室後、ERの窓や扉を開けて換気する。		
結核検査		
1. 結核検査は、マイクローバクテリウム検査と遺伝子検査(TB-PCR)をオーダーする。 2. 2週間以内で遺伝子検査(TB-PCR、LAMP法)を実施できる。 ※ 時間外にもガフキー検査と遺伝子検査は可能であるが、院外に依頼する必要があるため、提出時があるため、多少、時間を要する場合があります。検査を同時に開始すると、結果が判明まで約3時間かかる。		
4	結核の検査法	
1. 可能な限り、結核患者を結核患者専用室に入室させ、扉を閉鎖し、扉下より気圧を持続的に低くしてある部屋をいう。 2. 結核患者を結核患者専用室に入室させ、扉を閉鎖し、扉下より気圧を持続的に低くしてある部屋をいう。 入室後は、結核患者専用室の表のとおりである。★は、アイソレーターを壁のダクトに接続している。 408・410 B4病棟(2室) C3南病棟(2室) 423★・425(★) 456★・367★		
5	結核の検査法	
1. 結核は2類感染症に分類されている。来院した時点で、「直ちに」上京保健センターに届出する。結核患者の入院した病院に搬送された場合でも直ちに届出する。 2. 時間外に結核患者が来院した場合は、結核患者専用室に入室させ、必要に応じて空調機を依頼する。 3. 時間外に結核患者が来院した場合は、結核患者専用室に入室させ、必要に応じて空調機を依頼する。 ※ 既に他院で結核と診断されている場合は、上京保健センターへの届出は必要ない(他院から既に行政に届けられている)。		
6	救急隊への連絡	
救急搬入された患者が結核(疑)と判明したら、事務部から所轄の救急隊にその旨を連絡する。		
7	当院からよく転院する結核病院は・・・	
南京都病院(国立) 312-7361 京大病院 751-3111 京都市立病院 311-5311		
8	結核関連マニュアルは、ICTメイトの「医療関連感染対策マニュアル」内にある	
総論		各論
1. 感染症法 → 届出書や時間外届出方法、等		1. 隔離予防策 → (2)感染経路別予防策
7. 職員の健康管理 → 結核患者に接触した職員対応マニュアル		4. 結核対策 → 結核患者出現時の対応マニュアル、等

どんな時に疑うか？

初療室では・・・

結核の検査法

入院になったら・・・

マダニ咬傷	
1	マダニとは
マダニは3～4ミリ(吸血前)の固い外皮に覆われたダニで、森林や草地の屋外に生息しており、全国的に分布している。家庭内にいるダニとは種類が異なるが、ペットを介して感染する例もある。マダニは吸血すると形も大きさも変わる。	
	
2	マダニの除去方法
マダニの体部をひっぱると、口器が皮内に残ることがある。口器が皮内に残ると、炎症やアレルギー反応の原因となる。口器を皮内に残らせないよう、ピンセットなどでしっかりと挟み、ゆっくりと引き抜く。引き抜いた後は、傷口を消毒し、縫合閉鎖する。	
	
3	ダニ咬傷による主な感染症
リケッチアによる感染症(下野) 180件/年 抗菌薬は、シロリドが有効。 10件/年 ツツガムシ病(ツツガムシはダニの一種) 400件/年 4類感染症 直ちに届出	
4	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは・・・
ウイルス性感染症。発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢)、リンパ節腫脹、咳、紫斑、下血をおこす。対症療法。特異的な抗ウイルス薬等はない。	
感染対策	標準予防策 & 接触感染予防策 ※ 中国で、患者血液との直接接触が原因と考えられるヒト-ヒト感染事例がある。
症例定義	下記の7つを全て満たすもの ①38℃以上 ②消化器症状 ③血小板 10万以下 ④WBC4000以下 ⑤AST,ALT,LDH上昇 ⑥他に原因がない ⑦集中治療を要する
国内8例の概要(2013/3/18現在)	男性6名、女性2名。50歳以上。4月～11月。中央値:血小板34500。WBC1300。5名死亡。3名回復。

マダニの除去方法

抗菌薬は・・・

SFTSとは・・・





# マニュアル、アンチバイオグラム どこにある???

情報発信 ラウンド 抗菌薬 サーベイ 職員感染 抗体管理 抽出管理 統計 教育 管理 終了 画面印刷 設定

http://iv-activ/ictmate/([03pyyive451303a/02icov45])/?top.asp?uid=3079

お気に入り 感染制御文庫システム

患者配置マップ  
サーベイランス支援  
職員感染管理  
コンサルテーション  
ラーニング  
管理者用

ログイン  
利用者ID [下間 正隆]  
パスワード  
ログアウト

連絡先  
感染制御部 8550  
医師 下間 7754  
看護師 森下 7097  
薬剤師 澤田 7412  
検査技師 小野 7115

新着情報  
2013/09/12 久保田・呼吸器内科  
2013/07/01 2013年4月～6月  
2013/06/20 森下看護副部長・IC  
2013/05/21 薬剤部・西川先生の  
2013/05/02 2013年4月のICCニ  
2013/05/02 2011年度と2012年  
2013/04/19 スライド「感染対策  
2013/04/10 薬剤部・大塚先生の  
2013/04/02 2012年度(1年分)の  
2013/03/21 中減・大西師長のス  
2013/03/21 脳神経内科・牧野先  
2013/02/27 マダニ刺咬に由来する  
2013/02/15 ダニが媒介するウ  
重要なお知らせ  
2013/02/26 操作説明書  
2012/05/25 医療関連感染対策  
2012/05/01 当院検出菌の感

ICTMATE

患者配置マップ  
サーベイランス支援  
職員感染管理  
コンサルテーション  
ラーニング  
管理者用

ログイン  
利用者ID [下間 正隆]  
パスワード  
ログアウト

連絡先  
感染制御部 8550  
医師 下間 7754  
看護師 森下 7097  
薬剤師 澤田 7412  
検査技師 小野 7115

新着情報  
2013/09/12 久保田・呼吸器内科副部長のスライド「成人の市中肺炎について」を関連資料内に掲載しました。  
2013/07/01 2013年4月～6月のICCニュースを月報に掲載しました。  
2013/06/20 森下看護副部長・ICNのスライド「感染経路別対策について」を関連資料内に掲載しました。  
2013/05/21 薬剤部・西川先生のスライド「当院採用抗菌薬の適正使用について」を関連資料内に掲載しました。  
2013/05/02 2013年4月のICCニュースを月報に掲載しました。  
2013/05/02 2011年度と2012年度のICCニュースを年報に掲載しました。  
2013/04/19 スライド「感染対策ソフトを活用して、この病院のアウトブレイクをどのようにして防ぐか」を関連資料内に掲載しました。  
2013/04/10 薬剤部・大塚先生のスライド「皆で考えよう。注射薬の微生物汚染はこうして防ぐ！」を関連資料内に掲載しました。  
2013/04/02 2012年度(1年分)のICCニュースを月報に掲載しました。  
2013/03/21 中減・大西師長のスライド「当院中減センターのプリオン対策」を関連資料内に掲載しました。  
2013/03/21 脳神経内科・牧野先生のスライド「プリオン病について」を関連資料内に掲載しました。  
2013/02/27 マダニ刺咬に由来する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)が、3月4日(月)から、<直ちに>届出る義務のある四類感染症に追加されます。関連資料内にSFTSの定義、臨床的特徴、届出基準についてのpdfを掲載しています。  
※ 当院マニュアル内にある「感染症法」も準備出来次第、更新します。  
2013/02/15 ダニが媒介するウイルス感染症「重症熱性血小板減少症候群」について、厚労省が1月30日に「ダニが媒介する新興ウイルス感染症が国内で初めて確認された」と発表しました。マダニ

重要なお知らせ  
2013/02/26 操作説明書  
2012/05/25 医療関連感染対策マニュアル  
2012/05/01 当院検出菌の感受性率表(アンチバイオグラム)

定例会資料  
2013年4月～6月のICCニュースを月報に掲載し  
2013年4月のICCニュースを月報に掲載しました  
2011年度と2012年度のICCニュースを年報に掲載  
2013年度(1年分)のICCニュースを月報に掲載しま

関連資料  
成人の市中肺炎について  
森下看護副部長・ICNのスライド「感染経路別対策」  
薬剤部・西川先生のスライド「当院採用抗菌薬の適  
スライド「感染対策ソフトを活用して、この病院の

2013年11月～



Q

なぜ？

これが可能なのか？

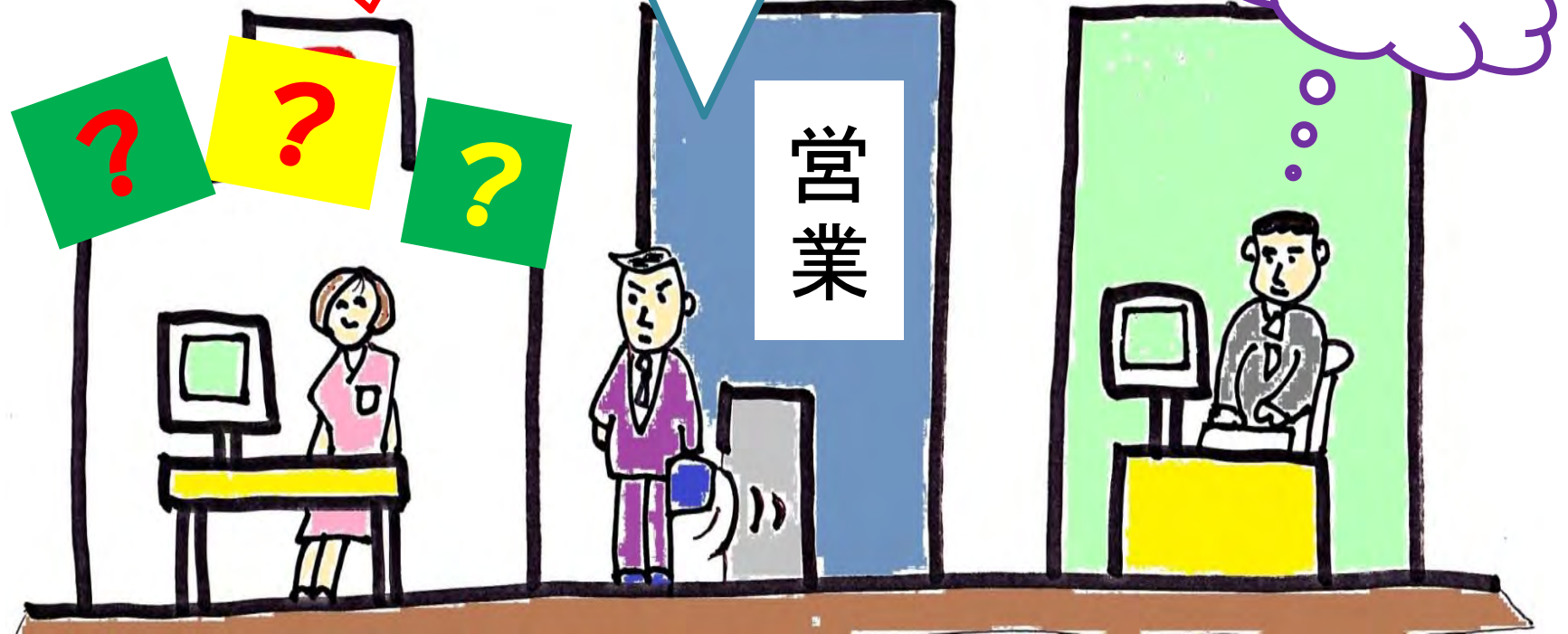
A

アイテック阪急阪神社は、  
アフターケアが  
しっかりしているから・・・

# 一般的な市販ソフトは...

なかなか  
うまく使えず  
イライラ...

ご意見は  
ソフト会社に  
伝えます







感染制御支援システム

**ICT Mate**

INFECTION CONTROL TEAM SUPPORT SYSTEM

アイテック阪急阪神社

困った時は、すぐに相談できて  
有り難いわ・・・

手作り  
ですから

導入後のフォローも  
迅速・確実

浜松町

何が言いたいのかといえば...

情報の収集はソフトに任せる。



分析し、どう対策するか？

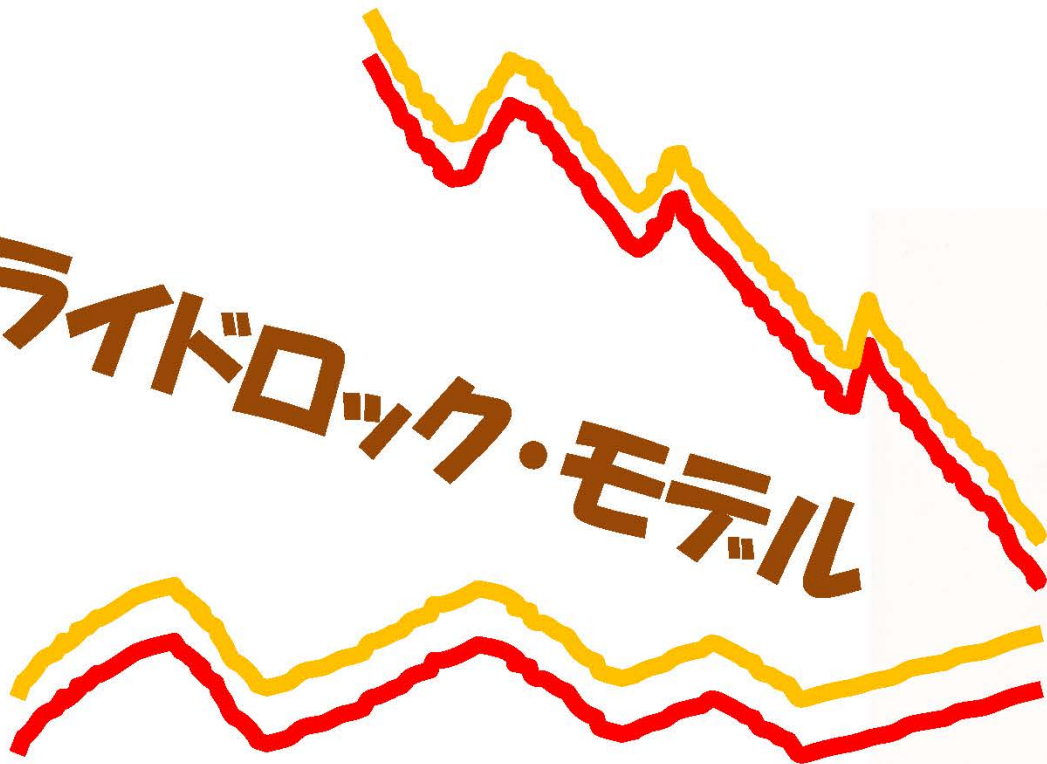
それが大事。

それが仕事である。



# 導入した後、どのように活用するか

フライドロック・モテル





抗菌薬管理  
感染症診療支援

サーベイランス  
ラウンド支援

職務感染管理

職員の情報共有

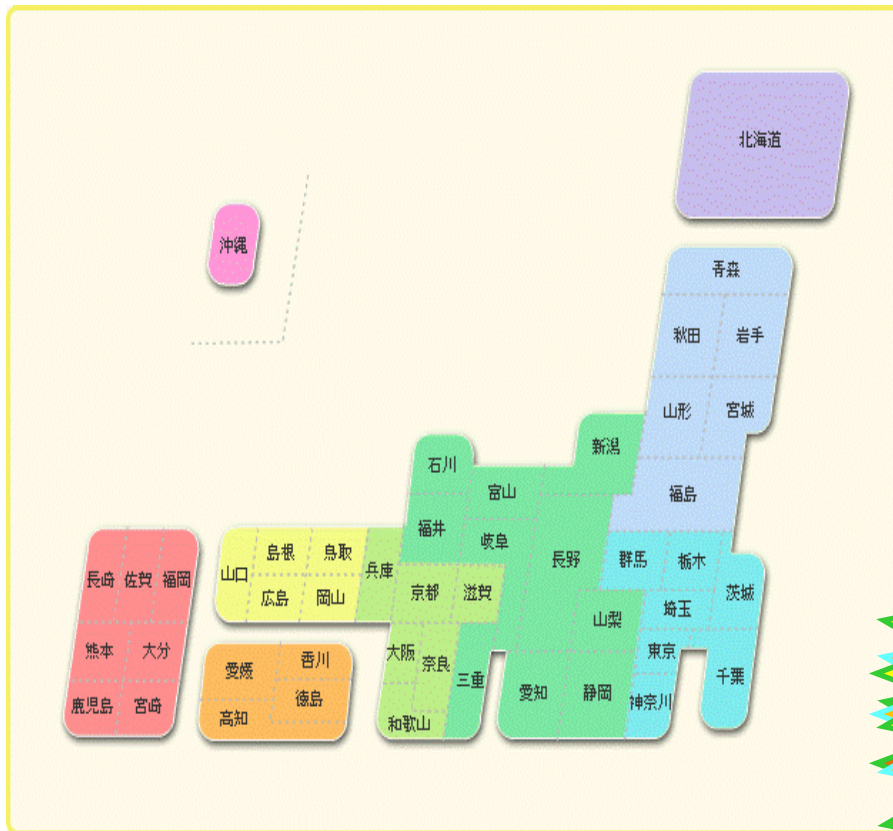
ICD・薬剤師  
細菌検査技師

ICTチームが利用

全職員が利用する



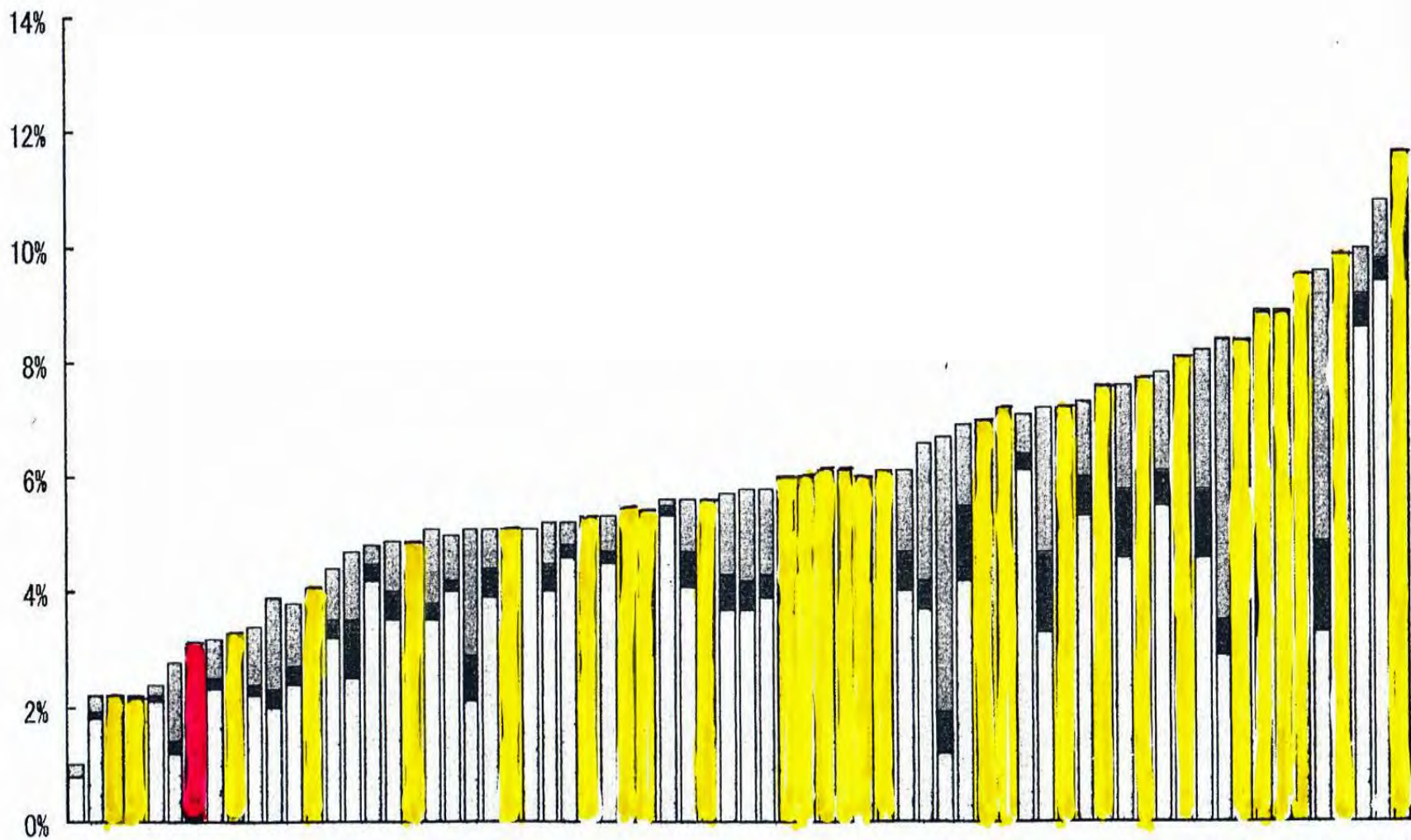
# 導入して、効果は出ているのか？



**抗菌薬  
使用割合  
ランキング**

# 広域抗菌薬 投与患者割合

症例割合





# 感染対策ソフトの最終目標

院内感染症を  
減らす

職員を  
感染から守る

ICD的  
活用



ICN的  
活用

# *Out of Control of Scar*

ICD的  
活用



ICN的  
活用



何が言いたいのかといえば...

感染対策  
ソフトは...

● 全職員の  
情報共有に  
不可欠

● 抗菌薬管理には  
やや限界がある  
(医師自身の問題)

● 次の加算取得のためにも、今、加算がついているうちに、導入して準備する

了